

プリミエ・コレクション 118

もう一つの 19世紀ドイツ哲学史

太田匡洋 著

A5判上製 358頁 定価：本体4500円+税
ISBN978-4-8140-0393-8 C3310

刊行予定：2022年3月下旬 条件：新刊委託
読者対象：専門
おすすめの棚：近代哲学
おすすめ度：★★★★☆

◎ドイツ観念論ではないカント後の正統な系譜

かつて世界の思想界をリードしたドイツ哲学において、従来のドイツ観念論哲学がカントを継承した正統であるという理解は見直しを迫られている。本書は、フリース、ショーペンハウアーの系譜こそカントの方法論の欠陥を補い継承するもので、自然科学との交流を経て、哲学との接続の可能性を見出すという、新たな哲学史の系譜を明らかにする。

◆太田匡洋：日本学術振興会特別研究員 PD（早稲田大学文学学術院）、大阪体育大学非常勤講師

プリミエ・コレクション 116

フランス語現象文の 意味論

津田洋子 著

A5判上製 280頁 予価：本体3800円+税
ISBN978-4-8140-0403-4 C3380

刊行予定：2022年3月下旬 条件：新刊委託
読者対象：専門
おすすめの棚：言語学
おすすめ度：★★★★☆

◎仏語の現象文でみる言語の多様なメカニズム

いま知覚された状況を述べた文を現象文というが、発話の場の状況次第で表現が変わってくる。IL Y A(～がある)と VOILA(そこに～がある)というフランス語文を手がかりに、通常存在と直示の違いという理解では説明できない場面を提示し、場面転換に応じて、文における断定のメカニズムが変わってくることを、豊富な用例から明らかにする。

注文書 1月号①

お申込みは→ 京都大学学術出版会 FAX：075-761-6190

番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		【プリミエ・コレクション】 もう一つの19世紀ドイツ哲学史 【2/25 締切】 ISBN 978-4-8140-0393-8 C3310 定価：本体 4500 円+税
番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		【プリミエ・コレクション】 フランス語現象文の意味論 【2/25 締切】 ISBN 978-4-8140-0403-4 C3380 予価：本体 3800 円+税